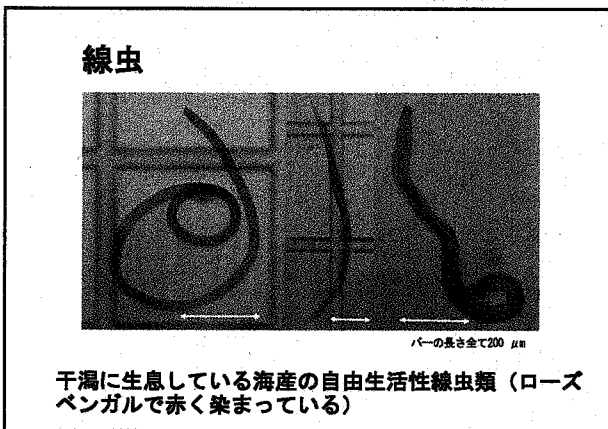
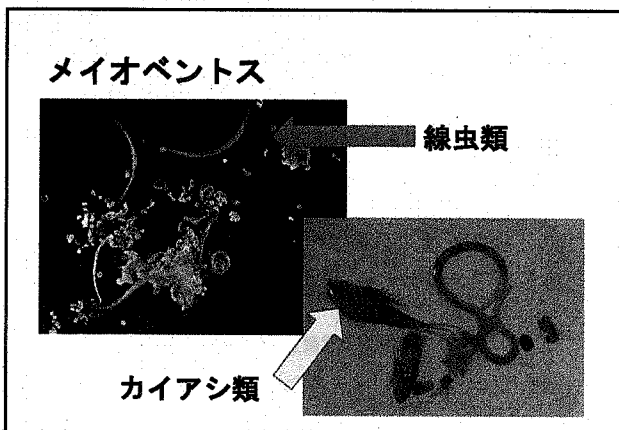


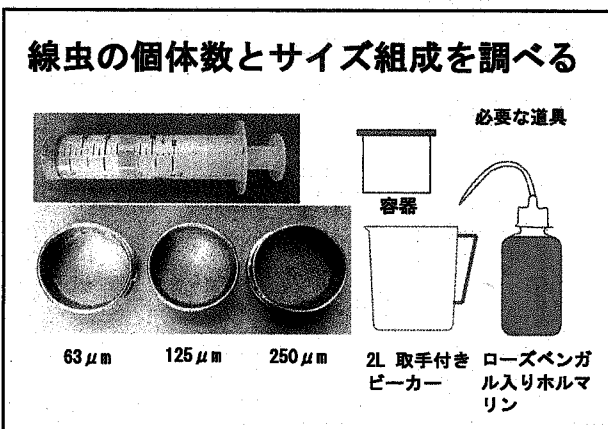
**線虫とは**

1mm目合を通過するサイズのベントス（メイオベントス）の中で最も優占する動物で個体数が多い（100個体/10 cm<sup>2</sup>以上）



**農地で行われている線虫を用いた土壌評価**

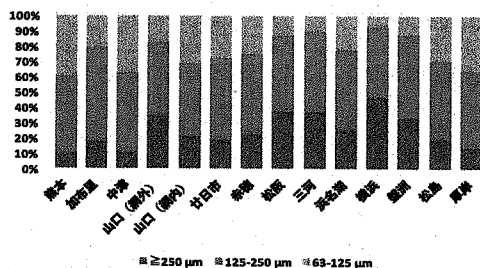
- 環境かく乱をモニターするために、線虫分類群間の生理生態学的特性の違いを利用した指数Maturity Index (MI) が1990年に提案された。
- $MI = \sum f(I)v(I)$   $f(I)$ は科Iの出現頻度  $v(I)$ は科Iのcp値
- 線虫の各科はcp値 cp1からcp5群までのいずれかに分類されている。
- 栄養が少なく環境ストレスがある不安定な環境ではMI値が小さくなり、環境ストレスの少ない安定した環境ではMI値が大きくなる





### 線虫のサイズ組成

線虫のサイズ組成は有機物量や粒径および底質の還元性によって変わる



### 線虫によるモニタリング

- 山口湾の干潟には500個体/10 cm<sup>2</sup>程度生息している (網をかけない場合)
- 網をかけると増える
- 有機物量が多くなると増える
- アサリが多くなると増える
- 還元性が高くなると大型サイズの割合が高くなる
- ベントス量が多いところで多いので干潟の生産性の高さの指標となる

### 山口湾の干潟での調査

被覆網内と網外の線虫の生息密度、サイズ組成および種組成の調査

アサリと線虫の関係

ご静聴ありがとうございました

